

24年度パドラーズトピックスー10

「行って見て被災地応援団・高校生お邪魔隊」



代表の小山澄子さん

9月2日(日)あきたESDネットワーク(代表小山澄子)の被災地応援と学生との交流を目的とした高校生の為の行って見て企画も無事終了しました。仁賀保高校のVB会(勉強とボランティアの会)や市内の高校生も参加し、16名で気仙沼女子高等学校(閉校予定)の学生との交流と、陸前高田第一中学校仮設住宅を訪問、当時の話を仮設の方々から話をきいて、学生なりの交流をしてきました。参加した多くの学生は多くのことを学んだようです。帰ってから多くの学生から参加したいとの希望があり、10月8日に第2回目も決まりました。



バスの中での自己紹介



気仙沼女子高等学校訪問



仁賀保高校のVB会のみなさん



高校生同士の交流風景ですが、一般的に学校主体での交流は今のところ多くの被災地の学校は中々受け入れてもらえないのが実情です。震災を思い出させることは学校として生徒にさせたくないようです。



仮設住宅での懇親会の模様で、子供も孫に話しかけるように教えてくれ、逆に生徒は元気をもらってきたようです。



又春、農業体験で持ちかえったプランターのピーマンやミニトマトが仮設住宅でこんなに大きく育ちました。朝晩の水をやって大事に育てたそうです。仕事のない私たちには毎日成長して行く様子と収穫がとても楽しく、うれしい事と感謝されました。